

第 11 回独立行政法人国民生活センター契約監視委員会議事概要

| | | |
|----------------------|--|--|
| 開催日 | 平成 23 年 1 月 24 日（月） | |
| 場所 | 独立行政法人国民生活センター東京事務所 5 階特別会議室 | |
| 出席委員氏名 | 委員長 高橋 京太（独立行政法人国民生活センター監事） 委員 有川 博（日本大学総合科学研究所教授） 委員 山内 容（弁護士） 委員 竹内 啓博（公認会計士・税理士） 委員 島崎 芳征（独立行政法人国民生活センター監事） | |
| 抽出案件 | 5 件 | （備考） ・事務局から、今回の審議対象の契約件数等について報告した。 ・抽出委員（島崎委員）から、審議対象契約について、契約方式及び内容別の件数を考慮し、一者応札及び随意契約になったものを中心に、抽出した旨の報告があった。 ・事務局から「独立行政法人の事務・事業の見直し基本方針」（平成 22 年 12 月 7 日閣議決定）について報告した。 |
| （内訳） | | |
| 一般競争入札 | 3 件 | |
| 随意契約 | 2 件 | |
| | 意見・質問 | 回 答 |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 平成 22 年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり | 平成 22 年度第 3 四半期に契約締結した抽出案件の審議内容は、別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | な し | |

(別紙)

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|--|
| <p>【事案1】X線装置の制御システム及び管球交換ならびに点検作業等</p> <ul style="list-style-type: none">・当該装置の耐用年数は、何年か。・買い替えるとするといくらなのか。・取得当時の契約方式は、どうだったのか。・取得当時は、当該事業者しか仕様を満たす装置がなかったかもしれないが、現在は、他の事業者でも取り扱いがあるのではないか。・テスト機器をリースで調達することは、考えていないのか。 | <ul style="list-style-type: none">・耐用年数は10年である。・買い替える金額は、把握していないが、当該装置の取得価格は、約34,000千円である。・当該装置は、事業者が直接販売方式をとっていることから、随意契約により調達した。・他の事業者での取り扱い状況は把握していないが、取得価格は高額であり、他のテスト機器の更新・保守もある中で、予算捻出も必要なことから、既存機器のオーバーホールを行うこととした。・以前は、そのような調達はあったが、現時点はない。テスト機器を調達する予算も少ないことから、できるだけ汎用性の高い機器を調達しているところであるが、リースを否定している訳でないので、調達に際しては、引き続き検討することとしたい。 |
| <p>【事案2】東京事務所における派遣業務－システム運用管理業務－</p> <ul style="list-style-type: none">・仕様書にある、「使用しているソフトウェアの管理経験及び知識」とあるが、センター独自で開発したものがあるのでないか。・システム運用保守業務の中で、使用しているソフトウェアの経験を、緩和することはできないのか。 | <ul style="list-style-type: none">・センター独自で開発したソフトウェアはない。稼働システムでは、業者が開発したソフトウェアはあるが、当該ソフトウェアについては、OJTにより必要業務を習得するとしており、経験等を必須にはしていない。・出来る限り緩和しているが、システムの根幹に関わるソフトウェアの経験については、落札後、業者が対応できずに運用に支障を生じさせることがないように、予め明らかにしている。落札後の実効性を確保するため、緩和することはできないと考える。 |
| <p>【事案3】PI0-NET2010 アプリケーション仕様変更作業等一式</p> <ul style="list-style-type: none">・履行期間が短いのではないか。 | <ul style="list-style-type: none">・システム刷新を行ったところであるが、使い勝手について、使用者から多数の要望が出されたため、その中から、特に緊急性が高いものにつ |

| 意見・質問 | 回 答 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・システム設計資料の開示は、どの程度まで行ったのか。 ・システム開発業者以外では、出来なかったのではないか。 ・システム設計資料の開示が不足しているという意見は、なかったのか。 | <p>いて変更を行うことにした。このため、これら要望に応えるため、年内に作業の完了を目指したものであり、やむを得ないものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての設計資料は、開示した。 ・システム開発業者以外は、出来ないとは思わないが、システム開発業者が、有利であることは否めないと考える。 ・特に、意見はなかった。 |
| <p>【事案4】次期ホームページシステムに係るサーバ等ハードウェアの調達及び運用・保守支援業務一式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格に「Web に関する JIS X 8341 に準拠した実績」とあるが、これはどのようなものなのか。 ・当該システムを置くデータセンターは、既に、調達がされていたが、それが影響することはなかったのか。 ・次期調達までは、時間があることから、1 者応札になった要因について、分析し、次回調達にその結果を生かしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 16 年に「バリアフリー」や「ユーザビリティ」について定められたもので、障がい者・高齢者の方への使い勝手について規定している。公的機関等は、これらに対応したものとなっているはずである。 ・システムを全て一つにまとめた方が管理しやすくなると思うが、データセンターの賃貸業者とシステム運用業者は、別々に存在しているところもあることから、分離調達した方が、効率化が図られると考えた。 ・公告期間や技術情報の提供等、参加制限がないように十二分に配慮したと考えているが、1 者応札になった原因を分析し、次回調達には、さらに内容を検討し、調達を行うこととしたい。 |
| <p>【事案5】医療機関ネットワーク事業に係る参画医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初20病院を15病院に減らしたのは何故か。 ・新たに参加した病院は、センターから話をしていたのか。 ・参加病院は、13 病院だけなのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の予算枠及び業務内容を考慮した委託費を勘案し 15 病院とした。 ・センターからは、話はしていない。 ・参加病院が少ないという意見もあり、今後、関係機関と調整のうえ、追加公募もありうる。 |